

年 組 番  
(名前)

<新聞記事から考えよう> 181022



◎図から読み取ろう

○県議13選挙区の定数をまとめよう。

選挙区	定数	政党別内訳
鳥栖市		
三養基郡		
神崎市・神埼郡		
佐賀市		
小城市		
多久市		
唐津市		
伊万里市		
西松浦郡		
武雄市		
杵島郡		
嬉野市		
鹿島市・藤津郡		
全議席数	38	

◎記事から読み取ろう

○選挙戦への展望をまとめよう。

- ・無投票になる可能性がある選挙区数は

\_\_\_\_\_選挙区

これは

前回\_\_\_\_\_年の\_\_\_\_\_選挙区より\_\_\_\_\_い

- ・選挙戦が確実なのは

○無投票の問題点をまとめよう。

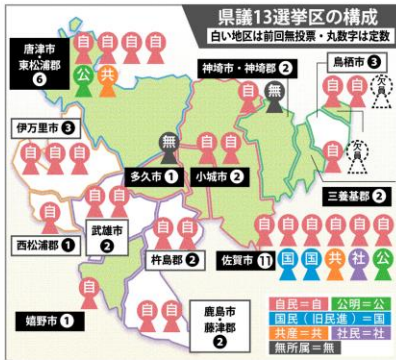
# 選択の構図

県議選まで半年

来春の佐賀県議選まで半年を切った。13選挙区で38議席を争い、佐賀新聞の21日までの取材では現職35人、元職2人、新人5人が立候補する見通し。他に複数の新人が出馬を模索している。最も定数が多い佐賀市を含む9選挙区が無投票になる可能性があり、前回2015年の6選挙区から拡大する様相を呈している。学識者は「政策論争の機会や有権者の選択権

が失われると危惧する。県議会で最多の27議席を占める自民党は今回、28議席以上を目標としている。21日の党県連総務会で、現職25人と、引退する唐津市・東松浦郡の現職に代わる新人1人の1次公認を決めた。佐賀市の現職1人は取り扱いは難航している。2区内の選挙区での擁立は、現職の死去に伴い欠員になっている鳥栖市で新人1人の擁立を決めた。議席がない唐津市・東松浦郡なく、衆院佐賀2区内の選挙区での擁立は難航している。共産党は7議席を目指す。佐賀市の現職と、前回初

職と新人計2人が出馬の意向を示す。唐津市・東松浦郡では元職が立候補する見通し。選挙区別に見ると、選



## 9選挙区無投票の可能性

### 「選択権失われる」危惧も

選挙が確実なのは唐津市・東松浦郡、三養基郡、神崎市・郡の3選挙区で、鳥栖市では選挙戦の可能性が高い。前回より動きが鈍く、無投票の公算が強まっている選挙区が増えているのが特徴だ。「この数回の選挙で交代が進んだことが一因とみられる。現職36人、員2のうちの3期以内は23人で、全体の6割以上を占める。他は4期から6期までが各4人、7期村の首長、議員選は21日佐賀大学経済学部の中村の首長、議員選は21日山敬夫教授(政治学)は県議について、自衛隊オスプレイの佐賀空港配備計画や九州新幹線長崎ルート(の整備)方針見直しを受けて「有権者に代わっ

(佐賀新聞 2018.10.22 付)

◎自分の考えをまとめよう

\*友達と意見交換したり、家族と話し合ったりしよう。

○自分の住んでいる地域について、どんな要望・希望・期待がありますか。どんなことを実現してほしいですか。